Imagica Robot Holdings Inc.

NEWS RELEASE

各　位

平成 28 年 8 月 26 日

会　　社　　名　株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス
代表者の役職氏名　代 表 取 締 役 社 長　　塚　田　眞　人
（コード番号：６８７９　東証第一部）
問 合 わ せ 先　執　行　役　員　企画部・財務部担当　森　田　正　和
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０３－６７４１－５７４２

8K／HDR 超高精細エンタテインメントコンテンツ製作を本格始動

当社の連結子会社である株式会社ロボット（以下、ROBOT）と株式会社IMAGICA（以下、IMAGICA）は、この度、8K／HDRで実写オリジナル作品を共同製作いたしますので、お知らせいたします。

ROBOTが企画・演出、IMAGICAがポストプロダクションを担当し、8K／HDRオリジナルコンテンツを製作、実写とCGを組み合わせた映像美と物語で紡ぐ、現代版かぐや姫「LUNA」（約17分）が間もなく完成いたします。

（添付資料　全 2 枚）

株式会社ロボット・株式会社 IMAGICA　ニュースリリース

『8K／HDR 超高精細エンタテインメントコンテンツ製作を本格始動』

以上



ニュースリリース

2016年8月26日

株式会社ロボット

株式会社 IMAGICA

８K/HDR 超高精細エンタテインメントコンテンツ製作を本格始動

ROBOTが企画･演出、IMAGICAがポストプロダクションを担当し、8K/HDR オリジナルコンテンツを製作

実写とCGを組み合わせた映像美と物語で紡ぐ、現代版かぐや姫「LUNA」(約17分)が間もなく完成



株式会社ロボット（本社：東京都渋谷区 代表取締役社長：加太孝明、以下「ROBOT」）と株式会社IMAGICA（本社：東京都品川区 代表取締役社長：藤川幸廣、以下「IMAGICA」）は、この度 8K/HDRで実写オリジナル作品を共同製作することをお知らせいたします。

8Kは、2016年8月1日に試験放送が始まるなど、総務省が2018年の実用放送に向けて推進している超高精細映像の規格です。モノクロからカラー、そしてハイビジョンや4Kというメディアの進化の中でその先の次世代メディアとして、総務省が2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの本格普及を目指しています。

現在、同作品はIMAGICAが8K映像編集に特化した新拠点としてオープンした、渋谷公園通りスタジオ（所在地：東京都渋谷区神南1丁目19-11パークウェースクエア2 3F）にてポストプロダクション作業中であり、2016年9月上旬に完成予定です。完成後、国内外の映画祭など多彩な賞へのエントリーを行う他、国内映像機器開発メーカーに対しデモンストレーション映像としての提供を行う予定です。

同作品は「映像美と物語の融合」「光の映像表現」をコンセプトに、8K（映像の解像度はハイビジョンの16倍）に加え、 HDR（ハイダイナミックレンジ）で制作を行いました。8K/HDR映像で紡がれた美しい物語と、CG・合成やカラーグレーディングによって生み出された世界観によって、見ている人が映像世界の一員となり、登場人物と共に物語を体験し感情を揺さぶられる、新しい超高精細エンタテインメントコンテンツに挑戦しています。

映像メディア業界は4K、8K、HDRそして広色域といった劇的な技術革新を迎えています。ROBOTは1986年にTVCMとグラフィックの制作プロダクションとして事業をスタートし、映画、TVドラマ、アニメーション、Web、ゲーム、モバイルコンテンツなど新しいメディアやコンテンツ領域にチャレンジしてまいりました。IMAGICAは、日本最大のポストポロダクションとして、フィルムからビデオ、デジタルへの変遷に対応し、映像産業を支えてきました。8Kのスタジオ環境も整った中、ROBOT、IMAGICAは、これまで培ったノウハウを活かし、4K、8K、HDR等の新しい映像表現や、高精細マーケットの可能性を開発し、最高のクリエーションと最先端のテクノロジーを組み合わせた新しいメディアエンタテインメントの世界を切り拓いていきたいと考えております。

■8K/HDRについて

8Kは、2018年の実用放送に向けて総務省が推進している超高精細映像の規格。モノクロからカラー、そしてハイビジョンや4Kというメディアの進化の中でその先の次世代メディアとして、総務省が2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの本格普及を目指しています。HDR（ハイダイナミックレンジ）は、輝度差を幅広く映像情報の中に表現する技法です。

■作品について

「LUNA」（約17分）
LUNAは「月の女神」という意味を持ちます。8KそしてHDRというメディアを使って物語を描くにあたり、光の映像表現をコンテンツのテーマとして月をモチーフとして選び、映像美と物語が融合した超高精細エンタテインメントコンテンツを目指しました。

【あらすじ】
ある秋の日。高校生の俊介は教室に見知らぬ美しい少女・梨紗がいることに気づく。自分だけが梨紗に違和感を感じる中、文化祭に向けたクラスの準備が始まる。俊介はその日々の中で好きな天体観測を通じて梨紗と親しくなっていくが、梨紗はじつは秘密をかかえていた。

■制作スタッフについて

脚本：平田研也
脚本家。2002 年 山崎貴監督作品「Returner」に共同脚本として参加。以来、映画脚本を数多く手掛け、2009 年には短編アニメーション「つみきのいえ」で米アカデミー賞を受賞。近年では、グリコ BffiX1000 のアニメーション「おなか姫」や、泣ける CM と話題の「マルコメ料亭の味」シリーズの TV-CM を企画・演出。その他にも、長編映画「ボクは坊さん。」の脚本を手がけ、第 49 回ヒューストン国際映画祭で長編部門の最高賞を受賞。ROBOT 所属。

演出：池田一真
映像ディレクター。番組 ID、オープニング等のモーショングラフィックス、実写、CG、アニメなど、手法にとらわれないディレクションと柔軟な制作スタイルで様々なジャンルの映像コンテンツを制作。広告祭 ADFEST2015 FILM CLAFT 部門/ブロンズ賞、2016 One Screen Film Festival Experimental 部門 Best Experimental 受賞など受賞多数。

■渋谷公園通りスタジオについて

2016年に試験放送、2018年には実用放送が開始される8K映像の編集に特化したスタジオです。映像の高精細化に対応し、4Kのさらに上を行く8K映像編集に備え、4K/HDR映像で経験を積んだ知識豊かなスタッフを配し、8K作業に取り組んでいます。

【機材リスト】　ノンリニア編集機／Snell Advanced Media　Quantel Rio 8K + Neo Nano、Sapphire for Quantel Rio、
モニターシステム／8K映像モニター 85型　SHARP　LV-85001、4K映像モニター 30型　SONY　BVM-X300
レコーダー／SHV P2レコーダー　PANASONIC　AJ-ZS0500

■ROBOT について

所在地：東京都渋谷区恵比寿南 3-9-7
代表取締役社長：加太孝明
事業内容：エンタテインメントおよび広告コンテンツの企画・制作事業（映画/TVCM/テレビドラマ/アニメーション/ゲーム等）
主な作品： 映画『ちはやふる』、映画『永遠の０』、映画『ALWAYS 三丁目の夕日』シリーズなど
企業 URL：http://www.robot.co.jp

■IMAGICA について

所在地：東京都品川区東五反田 2-14-1
代表取締役社長：藤川幸廣
事業内容：エンタテイメントおよび広告コンテンツの映像・音声編集、コンテンツ流通・配信サービス　他
企業 URL：http://www.imagica.com/

【本ニュースリリースならびに取材に関するお問い合わせ先】
株式会社ロボット 管理本部（広報担当）： 中上川康二　TEL：03-3760-1064 （press@robot.co.jp）
株式会社IMAGICA 企画室（広報担当）： 河野江見子　TEL：03-3280-1420 （info@imagica.jp）